

第22回子ども虐待防止シンポジウム

「虐待・ネグレクトを受けた子どもたちの治療」

2019年11月 9日(土)：学術集会〔逐次通訳付き〕

11月10日(日)：パネル・ディスカッション〔同時通訳付き〕



【会場】 ラジオ日本会議室
(神奈川県横浜市中区長者町5丁目85番地 三共横浜ビル3F)

<海外招聘講師>

Olga Trujillo 氏：米国弁護士、コンサルタント

<日本人講師>

白川 美也子氏：こころとからだ・光の花クリニック 院長

菊地 祐子氏：東京都立小児総合医療センター
心理・福祉科 医長

古田 洋子氏：埼玉県中央児童相談所 常勤医師

<司会・座長>

山田 不二子：認定NPO法人チャイルドファースト
ジャパン 理事長

【参加費】 一般 15,400円 税込

会員 12,100円 税込

学生 5,500円 税込

※ 大学院生・研究生・有職学生は一般扱いとなります
ので、学生料金ではご参加いただけません。

ホームページからお申込みください。

<http://symposium.childfirst.or.jp/>

お申込みを自己都合でキャンセルされた場合、ご入金
いただいた参加費はご返金できませんので、予め、ご
了承ください。

どちらかと言うと、これまでは診断やソーシャルワークをテ
ーマに取り上げてきましたが、今回はいよいよ、「虐待・ネグレ
クトを受けた子どもたちの治療」をテーマにします。

メイン・スピーカーはオルガ・トゥルヒーヨ氏です。オルガさ
んは、幼少期から十代にかけて、父や兄から性虐待を受け、「解
離性同一性障害」(DID)を発症しました。自分が細かく分かれて
存在している感覚が長く続き、人との信頼関係を築くのが難し
かったそうですが、その後、よきパートナーのサポートと専門的
治療によって回復しました。オルガさんのご経験に基づく具体
的なお話から多くを学び取ってください。

日本人講師としては、被虐待児・被ネグレクト児の治療に果敢
に取り組んでおられる3人の児童精神科医をお招きします。日本
における治療の現状を知るまたとない機会です。お見逃しなく。

一日目は、講師おひとりお一人からご講演いただきます。

二日目は、本シンポジウム恒例の午前・午後、2時間30分ず
つのパネル・ディスカッションです。午前は「日本における被虐
待児治療の実状」について、午後は「虐待・ネグレクトを受けた
子どもたちのためのこれからの治療」について、みなさんご一
緒に議論しましょう。「子どもたちに治療が必要なことはわかっ
ているけれど、なかなか、そこまでは手が回らない」と感じている
みなさん、治療の意義と必要性を今一度、考えてみましょう。



招聘講師紹介：Ms. Olga Trujillo (オルガ・トゥルヒーヨ氏)

弁護士としてまだ駆け出しだった頃、オルガ・トゥルヒーヨ氏は、「解離性同一性障害」(Dissociative Identity Disorder：DID)。以前、「多重人格」と呼ばれていた病態と診断された。広範な治療を受けた結果、オルガさんは世界的に有名な講演者となり、彼女の経験は『サバイバーの物語』(Survivor's Story)というドキュメンタリーにまとめられ、教育用ビデオとして活用されている。さらに、オルガさんは2011年に『私の中のわたしたち — 解離性同一性障害を生きのびて』(The Sum of My Parts: A Survivor's Story of Dissociative Identity Disorder)を著作し、現在は、「解離性同一性障害(DID)」に対する誤解を解き、偏見を取り除き、正しい理解を進めるために活動している。

